



2021年5月13日

各位

会社名 株式会社コロイド
代表者名 代表取締役社長 野尻公平
(コード番号 7616 東証第一部)
問合せ先 取締役 瀬尾秀和
(TEL 045-274-5970)

その他の営業費用（減損損失）の計上及び通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期連結会計年度末において下記の通りその他の営業費用（減損損失）を計上するとともに、2021年2月10日に公表致しました通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. その他の営業費用（減損損失）の計上

2022年3月期において業態・エリアポートフォリオの再構築を進めるために、48店舗の閉店を決定したことに伴う追加減損損失を含め、店舗固定資産に対し36億16百万円の減損損失を計上致しました。

2. 通期連結業績予想数値と実績との差異

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益	事業利益	EBITDA	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	167,826	△12,127	△4,498	△11,051	△9,663	△135.68
実績値 (B)	168,181	△8,146	△98	△10,769	△9,728	△136.55
増減額 (B-A)	355	3,981	4,400	282	△66	
増減率 (%)	0.2	32.8	97.8	2.6	△0.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	235,334	5,632	14,319	△6,798	△6,447	△88.62

(2) 差異の理由

前回予想数値を発表致しました2月10日時点においては、1月の「緊急事態宣言」の発令を受け、当社グループの75%の店舗において一時休業、または営業時間の短縮の措置を講じておりましたことから、売上収益以下各利益項目において保守的な前提に基づき予想数値を算定しておりました。しかしながら、これまで居酒屋業態を中心に統廃合を積極的に進めたほか、損益分岐点の引き下げによる収益性の向上についても継続的に努めてまいりましたことに加え、休業や時短営業に対する政府の「協力金」等の支援体制の充実による収益面の下支えもあり、上記の改善となったものであります。

以上